

その人は／流れのほとりに植えられた木。／時  
が来ると実を結び／その葉は枯れず／そのなす  
ことはすべて栄える。(3)

旧約時代、詩篇は「賛美」と呼ばれ、礼拝で用  
いられてきました。詩篇は神の御手の業(わざ)  
である自然を歌い、神を賛美し、崇めています。  
今も、詩篇は信仰生活のコンパニオンです。ピ  
リー・グラハムは「毎日一篇の詩篇を読みなさ  
い」と言いました。

ここでは、〈川と木と実〉によつて、信仰人生  
が歌われています。詩 65・9 に「神の川は水で  
満ちています」とあります。エゼキエル 47・12  
にも、同じように〈川と木と実〉が出てきます。  
エゼキエル 47・9 には「この川の行くところで  
はすべてのものが生きている」とあります。

エルサレムには目立った川がないのに、いのち

の川が描かれているのは、イエス・キリストに  
よつて与えられるいのちの水を指しているからで  
す。イエスは「わたしを信じる者は、聖書が言っ  
ているとおり、その人の心の奥底から、生ける水  
の川が流れ出るようになります」と言われ、この  
「生ける水の川」は聖霊を指しています(ヨハネ  
7・38〜39)。

天国には、海はありませんが、川があります。  
神と子羊の御座から出る「いのちの水の川」で  
す。そしてそこには「いのちの木」と、その  
「実」が描かれています(黙示録 22・1〜6)。  
私の名前に「川」の字が入っているので、私は  
これらの御言葉が好きです。私自身が聖霊に満た  
され、他の人にもその祝福を分け与える者になり  
たいと願っています。

祈り 川のように祝福の源にしてください。

OM

天の御座に着いておられる方は笑い／主はその子どもを嘲られる。(4)

詩篇には嘆きがあり、賛美があります。詩篇は喜怒哀楽を描き、それによって神の御業(みわざ)を賛美しています。ここに「神は笑う」とありますが、神もまた喜怒哀楽をお持ちなのです。そして、聖書では「笑う」という言葉は深い意味で使われています。創世記18・12に、「サラは心の中で笑って、こう言った」とあり、ルカ6・21には、「今泣いている人たちは幸いです。あなたがたは笑うようになるからです」とのイエスの言葉があります。

詩篇2・1と2に「なぜ 国々は騒ぎ立ち／もろもろの国民は空しいことを企むのか。なぜ 地の王たちは立ち構え／君主たちは相ともに集まるのか」とあります。今、世界は騒ぎ立っています。

す。しかし、「神は笑っておられ」ます。なぜなら、嘆きは喜びに変わるからです。サラは老齢になって子を宿すという命の奇蹟を笑いによって取りしました。イエスは弟子たちが霊的いのちを受け、喜びに満たされることを「笑う」という言葉で告げました。

使徒4章に、ペテロとヨハネが釈放されたあと、弟子たちが詩篇2篇を引用して祈ったことが書かれています。弟子たちは聖霊に満たされ、力強い宣教の働きが進んでいきました。十字架のあとによりみがえりが、悲しみと痛みのもとに、「笑う」が来ます。神が、人々が騒ぎ立つのを「笑って」おられるのは、最後の勝利が神にあることをご存知だからなのです。

祈り 人々はあなたに逆らって騒いでいます。しかし、主よ、私たちは最後の勝利を信じます。OM

しかし 主よ あなたこそ／私の周りを囲む盾  
 ／私の栄光 私の頭を上げる方。私は声をあげ  
 て主を呼び求める。／すると 主はその聖なる  
 山から私に答えてくださる。 セラ（3〜4）

この詩篇の作者、ダビデは、苦難の中でこれを  
 歌っています。苦難や試練の中で神の守りに目を  
 向ける人は幸いです。

私自身「クリスチャンであるが故に体験する試  
 練」を数々経験して来ました。はじめは、試練の  
 理由や目的を理解することができず、戸惑うこと  
 も多々ありました。しかし、聖書理解を深めてい  
 くことで、試練の中でこそ、神の恵みを体験でき  
 るのだ、ということが分かるようになりました。  
 重要なことは、ともにいてくださる神を見上げ、  
 その守りに寄り頼むことです。また、過去の経験  
 を思い返し、神がどのように自分を守り導いてく

ださったかを思い出すことも大切です。

ここでダビデが歌っていることは、正にそのこ  
 とではないかと思えます。

私たちの慰めは、キリストご自身が、私たちの  
 経験する全ての試練を経験してくださったことに  
 あります。キリストは私たちの苦しみや弱さに同  
 情できないお方ではありません。ですから、苦難  
 の中でこそキリストを思い、「あわれみを受け、  
 また恵みをいただいて、折になつた助けを受け  
 るために、大胆に恵みの御座に近づこうではあり  
 ませんか」とのみことばを覚えましょう（ヘブル  
 4・14〜16）。

祈り 主よ。苦難の中でこそ、あなたの恵みを体  
 験できることを知りました。試練に直面すると  
 き、御手によって、私をお守りください。キリス  
 トの御名によって、祈ります。

YH

「試し読み」はここまでです。

お気に入りでしたら

ご注文ください。



Penguin Club

[www.penguinclub.net](http://www.penguinclub.net)